

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差								
学年	第6学年			学年	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
年度	国語	算数	合計	年度	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標				令和12年度の目標								
令和11年度の目標				令和11年度の目標								
令和10年度の目標				令和10年度の目標								
令和9年度の目標				令和9年度の目標								
令和8年度の目標	+2	+5	+7	令和8年度の目標	-5.0	-10	-3	-1	+2	+10	-5	-5
令和7年度の結果	-14	-16	-30	令和7年度の結果	-9.3	-16.2	-7.2	-4.3	+0.8	+12.3	-13.3	-13.5
令和6年度の結果	-1	-6	-7	令和6年度の結果	-3.9	-9.0	-1.8	+0.6	-9.4	-14.0	-2.7	-5.8
令和5年度の結果	-4	-5	-9	令和5年度の結果								

年度	令和7年度 成果と課題		令和8年度	
内容			目標	目標達成に向けた取組
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年以上では、一部教科の教科担任制を導入し、教科専門性を高めることができた。</li> <li>・特定学年では、算数の成果が大きく出ており、指導方法の成功例が存在している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学年、低学年での基礎学力の弱さが全体の課題として浮き彫りとなっている。一方で、今後は、成功している学年の指導法を他学年へ展開することや、低学年の基礎固めが重要となる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学年・中学年における基礎学力（読み・書き・計算）の定着を図り、全国平均を安定して上回る学力を身に付けさせる。</li> <li>○教科担任制の効果をさらに高め、専門性を生かした授業改善を進める。</li> <li>○学年間の学力差を縮小し、系統的な学習の積み上げを強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○週に2回程度、1回に付き15分程度の学習タイムを毎週設ける。漢字ミニテストや計算練習などを各学年の発達段階に応じて計画的に繰り返し取り組み、基礎学力を高めていく。</li> <li>○教育用タブレットのミライシード内のドリルパークも積極的に活用し、反復学習を行う。</li> <li>○家庭ルール期間や長期休業期間などに、児童が、教育用タブレットを使って、ミライシード内にあるドリルパークにすんで取り組めるようにする。</li> </ul>
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活に慣れ、学習への意欲が安定して高まり、授業中の姿勢や話の聞き方が改善し、学習に集中できる時間が伸びた。</li> <li>・友達との関わり方が安定し、学習場面での協力が見られるようになった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の集中力が持続しにくい児童が見られ、学習規律のさらなる定着が必要である。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と協力しながら学習に取り組む態度をさらに育成し、学習への主体的な参加を促す。</li> <li>○学習への意欲を維持し、基礎的な学習内容を確実に身に付けることができる児童を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話の聞き方・姿勢・持ち物の準備など、基本的な学習態度を繰り返し指導する。</li> <li>○個々の集中が途切れやすい場面を把握し、机間指導や声かけを工夫する。</li> <li>○達成感を得られる活動や振り返りの時間を設け、学習の充実感を感じさせる。</li> <li>○教育用タブレットのミライシード内のドリルパークも積極的に活用し、反復学習を行う。</li> <li>○学期末用に準備したワークテストで、8割達成者が80%をこえるようにする。</li> </ul>
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の話の聞き方が安定し、学習への集中時間が伸びた。</li> <li>・繰り上がり・繰り下がりのある計算が正確にできる児童が増えた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の集中力が途切れやすい児童が見られ、学習規律のさらなる定着が課題である。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業中の集中力を持続させるための学習規律を確立し、落ち着いて学習に取り組む姿勢を定着させる。</li> <li>○計算力の向上を継続し、繰り上がり・繰り下がりを含む計算をより正確かつスムーズに行える児童を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集中が途切れやすい児童に対して、机間指導や声かけを工夫し、個別に支援する。</li> <li>○繰り上がり・繰り下がりの計算を日常的に反復し、計算の正確さとスピードを高める。</li> <li>○短時間で集中して取り組める活動を取り入れ、成功体験を積ませる。</li> <li>○教育用タブレットのミライシード内のドリルパークも積極的に活用し、反復学習を行う。</li> <li>○江戸川区学力調査の学習意識調査における「学習習慣等」の項目が、区平均を上回るようにする。</li> <li>○学期末用に準備したワークテストで、8割達成者が80%をこえるようにする。</li> </ul>
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言が増え、学習への主体的な参加が見られた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川区学力調査の結果から第3学年の国語(-9.3)・算数(-16.2)が全国平均を大きく下回る。低学年の基礎学力の定着に課題がある可能性がある。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語・算数の基礎学力を確実に定着させ、全国平均を安定して上回る学力を身に付けさせる。</li> <li>○低学年からの学習内容を確実に積み上げ、読み・書き・計算の基礎を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み・書き・計算の反復練習を日常的に取り入れ、基礎の確実な定着を図る。</li> <li>○算数では計算の正確さとスピードを高めるための短時間学習を継続する。</li> <li>○話の聞き方・姿勢・ノートの取り方など、基本的な学習態度を継続して指導する。</li> <li>○教育用タブレットのミライシード内のドリルパークも積極的に活用し、反復学習を行う。</li> <li>○江戸川区学力調査の学習意識調査における「学習習慣等」の項目が、区平均を上回るようにする。</li> <li>○学期末用に準備したワークテストで、8割達成者が80%をこえるようにする。</li> </ul>
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言が増え、主体的に学習へ参加する児童が多く見られた。漢字の習得が進み、語彙が増えたことで文章表現が豊かになった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川区学力調査の結果から第4学年の国語(-7.2)・算数(-4.3)も全国平均を下回る。中学前半での学力の伸び悩みが見られる。基礎学力の定着に課題が見られる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語・算数の基礎学力を確実に定着させ、全国平均を安定して上回る学力を身に付けさせる。語彙力・文章表現力の向上を図り、読解力の基盤を強化する。</li> <li>○計算力・思考力を高め、文章題や図形問題にも主体的に取り組める児童を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発言の機会を増やし、根拠を示して説明する活動を取り入れることで思考力を育てる。</li> <li>○話の聞き方・姿勢・ノートの取り方など、基本的な学習態度を継続して指導する。</li> <li>○教育用タブレットのミライシード内のドリルパークも積極的に活用し、反復学習を行う。</li> <li>○江戸川区学力調査の学習意識調査における「学習習慣等」の項目が、区平均を上回るようにする。</li> <li>○学期末用に準備したワークテストで、8割達成者が80%をこえるようにする。</li> </ul>
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川区学力調査より、第5学年(算数)で大きく全国平均を上回る(+12.3) 計算力・思考力の指導が効果的に機能していると考えられる。</li> <li>・ドリルパークを活用した家庭学習の習慣が定着し、学習時間の確保と振り返りが継続できている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読解問題で「根拠を示して説明する」「自分の考えを論理的に述べる」などの記述力に課題が残る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○国語における記述力（根拠を示す・自分の考えを論理的に述べる力）を向上させ、全国平均を安定して上回る学力を身に付けさせる。</li> <li>○算数で成果が出ている指導方法を継続・発展させ、思考力をさらに高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「理由を書く」「根拠を示す」などの記述練習を段階的に取り入れ、論理的に説明する力を育てる。</li> <li>○友達と考えを共有する活動を取り入れ、思考の深まりを促す。</li> <li>○ペア学習・グループ活動を通して、友達と協力しながら考えを深める学習を促進する。</li> <li>○ドリルパークの活用を継続し、家庭学習の習慣を安定させる。</li> <li>○江戸川区学力調査の学習意識調査における「学習習慣等」の項目が、区平均を上回るようにする。</li> <li>○学期末用に準備したワークテストで、8割達成者が80%をこえるようにする。</li> </ul>
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校を見据えた学習姿勢(自立的な学習・振り返り)の確立が概ね達成された。</li> <li>・学力が低い児童が多い中、授業中の話の聞き方が安定し、学習への集中時間が伸びた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸川区学力調査の結果から、第6学年の算数(-13.5)が大幅に全国平均を下回る。高学年の応用力・文章題・思考力の強化が必要である。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○算数の応用力・文章題への対応力を高め、全国平均を安定して上回る学力を身に付けさせる。</li> <li>○中学校を見据えた自立的な学習姿勢をさらに定着させ、計画的に学習に取り組む児童を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つまずきのある児童に対して個別支援や補充学習を行い、理解不足を早期に解消する。</li> <li>○ノート指導や学習の見通しをもたせる活動を通して、学習内容の整理・理解を促す。</li> <li>○授業の始まり・切り替えのルールを明確にし、落ち着いて学習に取り組む環境を整える。</li> <li>○教育用タブレットのミライシード内のドリルパークも積極的に活用し、反復学習を行う。</li> <li>○全国学力調査の児童質問における「生活習慣・学習習慣」の項目が、全国平均を上回るようにする。</li> <li>○学期末用に準備したワークテストで、8割達成者が80%をこえるようにする。</li> </ul>